

ティーネのいいね！ドイツ

沼田市国際交流員が教えるドイツ

ドイツ統一記念日

ドイツでは地域によって9日～14日の祝日があって、日本のように振替休日がありません。国の法律で決定されている祝日はただ1日です。それは10月3日の「ドイツ統一記念日」という国家記念日です。ドイツ分断と再統一の歴史は少し複雑で分かりにくいかもしれませんが、その概要をお話しします。第二次大戦後の1945年以降、ドイツは当時のアメリカ、イギリス、フランス、ソ連による共同管理下に置かれ、首都ベルリンを分割して「ドイツ連邦共和国（西ドイツ）」と「ドイツ民主共和国（東ドイツ）」に分断されました。



ベルリンの壁 (記念)

西ドイツが資本主義市場経済、東ドイツは社会主義経済として、それぞれ違った道を歩みますが、経済成長の格差によって、東ドイツから西ドイツへの国民の流出が増え、それを防ぐため、1961年に東ドイツによってベルリンの壁が建設されました。その後も分断された状態が続きましたが、経済と生活水準の格差によるデモや西ドイツへの大規模な移住、また、東欧諸国の民主化を受け、統一の動きが加速し、1989年にベルリンの壁の開放によって、再びドイツ統一が実現しました。その後も経済は東側の方が弱くて、西側の方が強いので、資金援助が続いてきました。職を求める多くの若者は西側に流れています。でもうれしいことに経済格差はなくなりつつあります。

ベルリンの国会議事堂

1990年10月3日、ドイツの憲法にあたる基本法第23条に基づき、東ドイツの「ドイツ連邦共和国への加入」が発効され、これにより45年に及ぶ分断を経てドイツの国家統一が果たされたのです。この10月3日は「ドイツ統一の日」（Tag der Deutschen Einheit）としてドイツ国民の祝日となっています。ドイツ各地でこの日を祝う式典が催されます。ベルリン帝国国会議事堂前やブランデンブルク門周辺では、何十万人も集まって、国旗を掲揚したり、ベルリン市庁舎の「自由の鐘」を鳴らしたり、花火などが打ち上げられます。



作者：クリスティーネ・バウアー（ティーネ）
問い合わせ：c.bauer@city.numata.gunma.jp
👩🍳 クックパッド：沼田市のキッチン

Ich bin ein Berliner!
(私はベルリン市民である!)
1963年ジョン・F・ケネディより